

市内中小企業景況調査報告書

令和3年 9月～12月 実績

令和4年 1月～ 4月 見通し

令和4年 1月

江別商工会議所

目 次

I 調査要領

1. 調査対象	2
2. 調査方法	2
3. 業種別回答状況	2

II 江別市内の経済動向

1. 常時使用従業員数	3
2. 業況	3
3. 売上状況	8
4. 利益状況	9
5. 資金繰り状況	10
6. 設備投資状況	11
7. 雇用状況	12
8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況	13
9. 経営上の問題点	14

III 業種別参考資料

1. 製造業	15
2. 小売業	16
3. サービス業	17
4. 建設業	18

I 調査要領

1. 調査対象

- ・市内中小企業 400企業
- 【内訳】
 - ・製造業 81企業
 - ・卸売業 50企業
 - ・小売業 67企業
 - ・サービス業 102企業
 - ・建設業 100企業

2. 調査方法

- ・郵送によるアンケート調査を実施した。
- ・調査票発送日 令和3年11月30日
- ・調査票回答期限 令和3年12月27日

3. 業種別回答状況

業種	発送企業数	回答企業数	回答率
製造業	81	43	53.1%
卸売業	50	17	34.0%
小売業	67	30	44.8%
サービス業	102	43	42.2%
建設業	100	38	38.0%
合計	400	171	42.8%

※ 本調査結果報告書中の「DI 値」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、調査項目についての「良い、増加、過剰」とした企業割合から「悪い、減少、不足」とした企業割合を差し引いた値を示す。

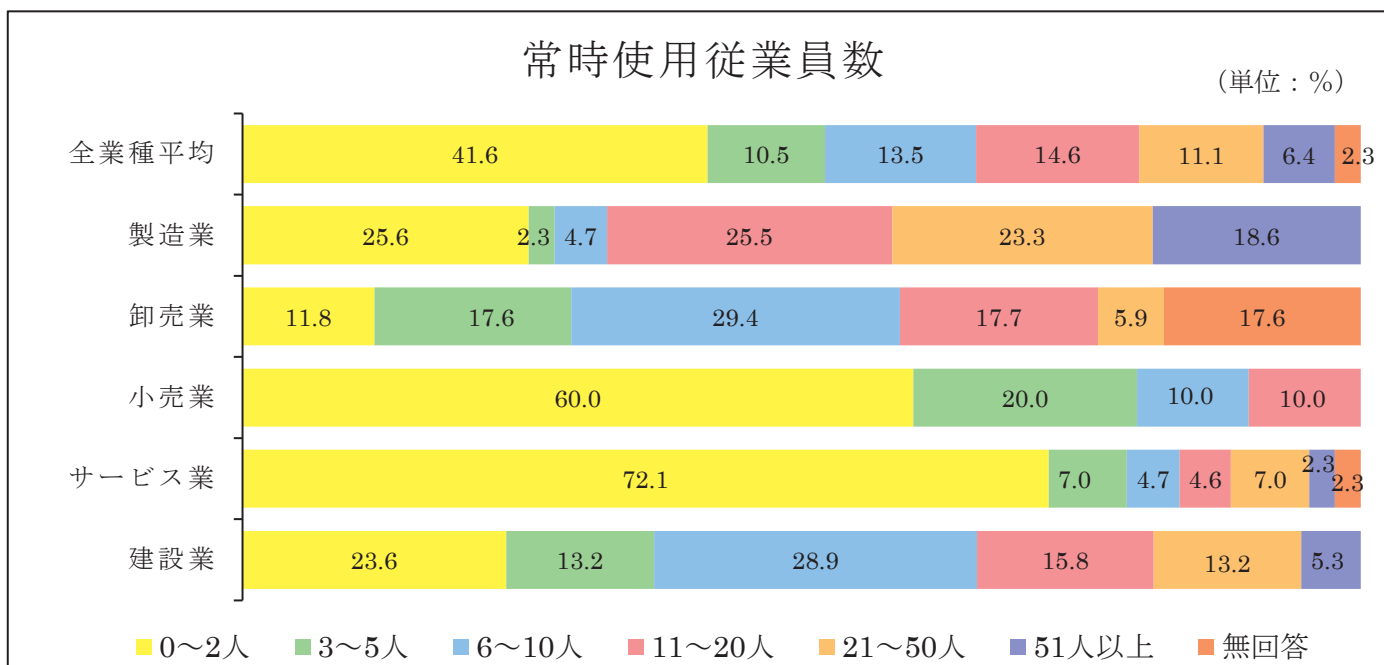
※ 本調査結果報告書中の「前回」とは、令和3年8月（令和3年5月～8月）を示し、「前年同期」とは、令和2年12月（令和2年9月～12月）を示す。

II 江別市内の経済動向

1. 常時使用従業員数

回答企業の従業員数内訳は下記のとおりであり、構成割合は全業種平均で20人以下の企業が約80%を占めており、そのほとんどが小規模企業であることが分かる。

このように、江別市内の企業形態は、大部分が小規模企業であることから、小規模企業の業況が市内の景況に大きく影響を与えていることが予測される。



2. 業 況

内閣府が発表した月例経済報告（令和3年12月発表）によると、個人消費はこのところ持ち直しているとされ、企業収益は新型コロナウイルス感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、持ち直しているとなった。生産並びに設備投資は持ち直しに足踏みがみられるようになっており、雇用情勢は感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる。倒産件数はおおむね横ばいとなっており、企業の業況判断は、持ち直しの動きがみられるとされた。景気は感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。先行きについては、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されるが、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要があるとされている。

北海道経済産業局が発表した管内経済概況（令和3年12月発表）によると、生産活動は「弱い動きがみられる」、個人消費は「一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる」、住宅建設は「持ち直しの動きがみられる」、民間設備投資は「増加している」、企業倒産については「件数、負債総額とも減少している」、公共工事は「減少している」、雇用動向は「弱い動きがみられる」との判断が継続されるなか、有効求人倍率は1.00倍と前年同月比0.03ポイント上昇し、5か月連続で前年を上回った。

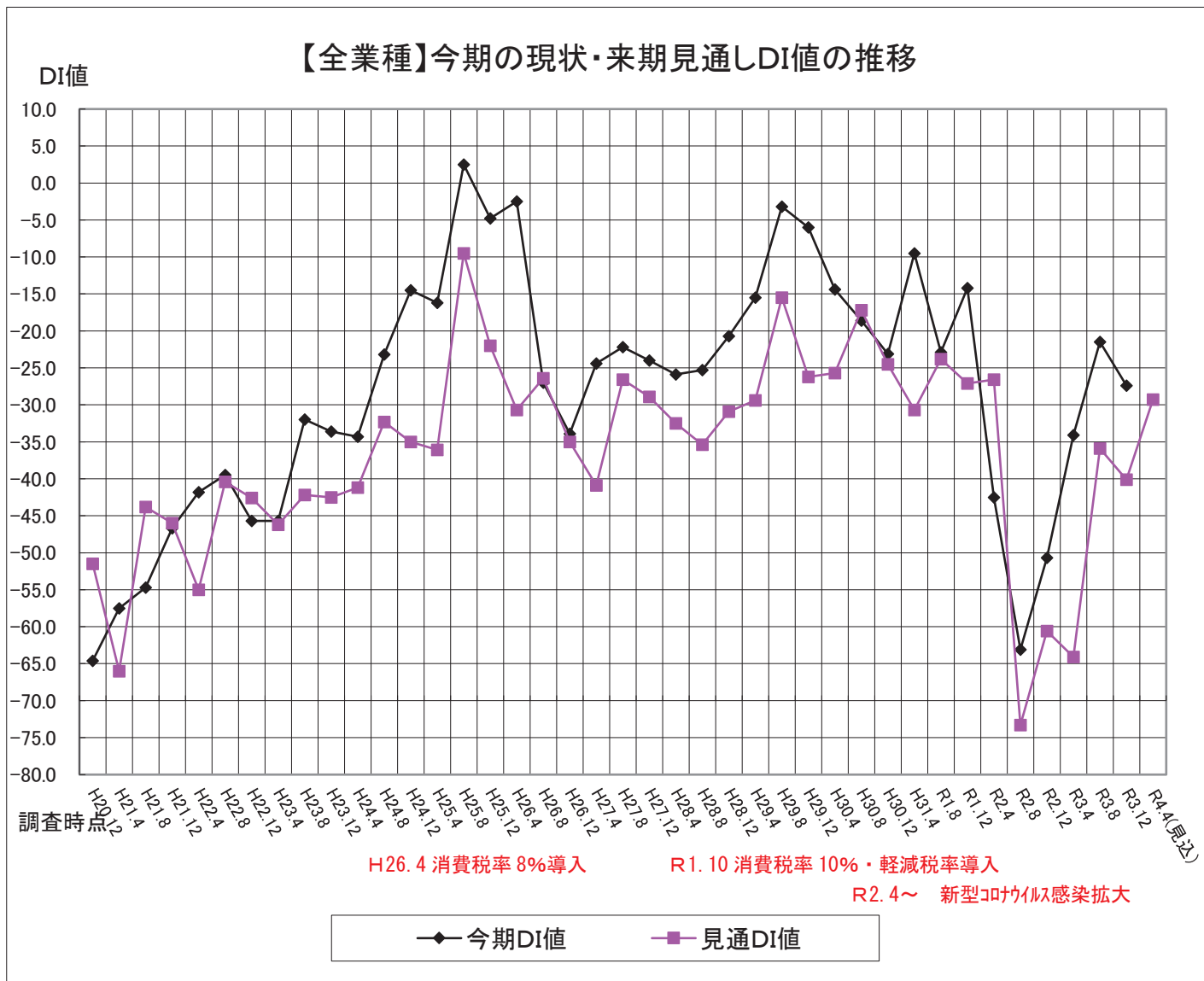
道内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる。先行きについては、感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要があるとされている。

こうした情勢下、当所が行った江別市の景況調査（令和3年9月～12月）では、全業種平均の今期業況DI値は△27.4と前回（令和3年8月期）△21.5に比べ5.9ポイントの悪化となった。業種別に見ると、サービス業では8.3ポイントの改善となったが、卸売業で23.6ポイント、小売業では12.6ポイント、製造業で9.3ポイント、建設業では1.9ポイントの悪化となっている。今期業況DI値を前年同期（令和2年12月期）の調査結果と比較すると全ての業種で改善となっており、小売業で31.9ポイント、建設業で27.7ポイント、サービス業で23.8ポイント、卸売業で21.4ポイント、製造業で17.3ポイント改善している。

来期の見通しDI値を今期の業況DI値と比較すると卸売業で11.8ポイント、サービス業で2.3ポイントの改善見通しとなったものの、建設業で13.2ポイント、小売業で3.3ポイント、製造業で0.1ポイント悪化の見通しとなっている。景況の先行きについては総じて感染症の影響により厳しい状況にあるが、一部業種に弱さがみられるものの持ち直しの動きが見られる。

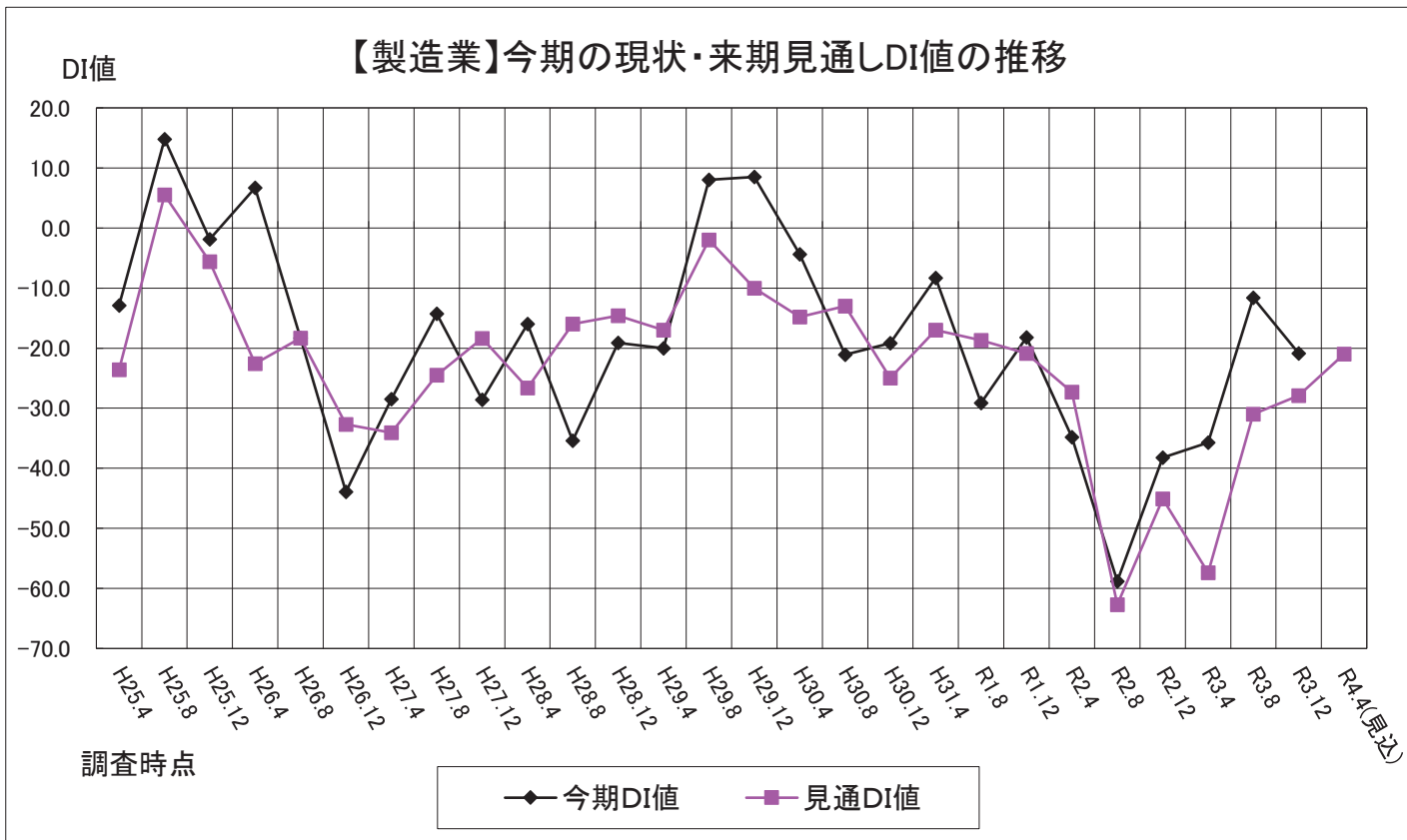
全業種平均

- ・今期DI値は△27.4となり、前回より5.9ポイント悪化、前年同期より23.3ポイント改善。
- ・来期DI値は△29.3となり、今期より1.9ポイント悪化。



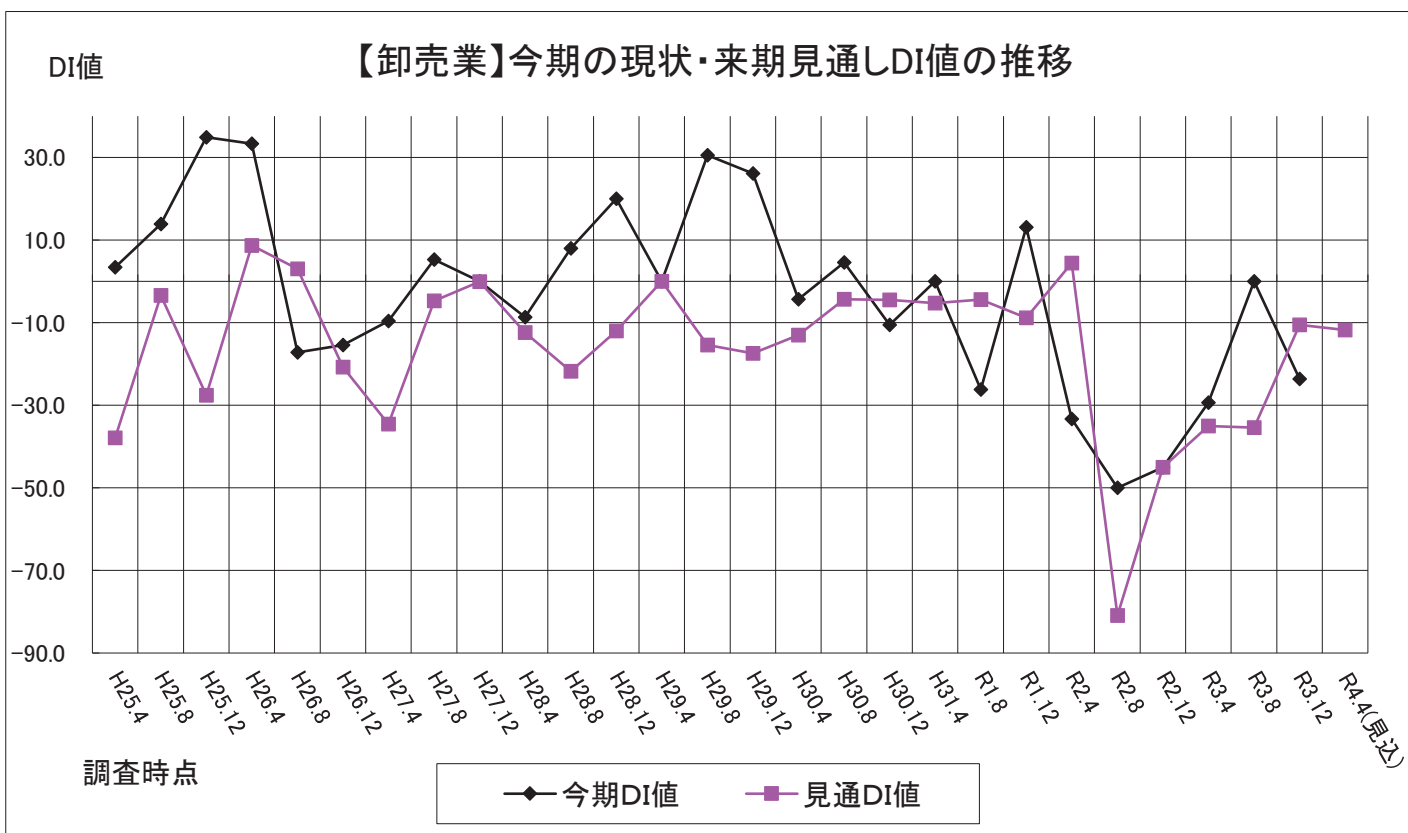
製造業

- ・今期D I 値は $\Delta 20.9$ となり、前回より9.3ポイント悪化、前年同期より17.3ポイント改善。
- ・来期D I 値は $\Delta 21.0$ となり、今期より0.1ポイント悪化。



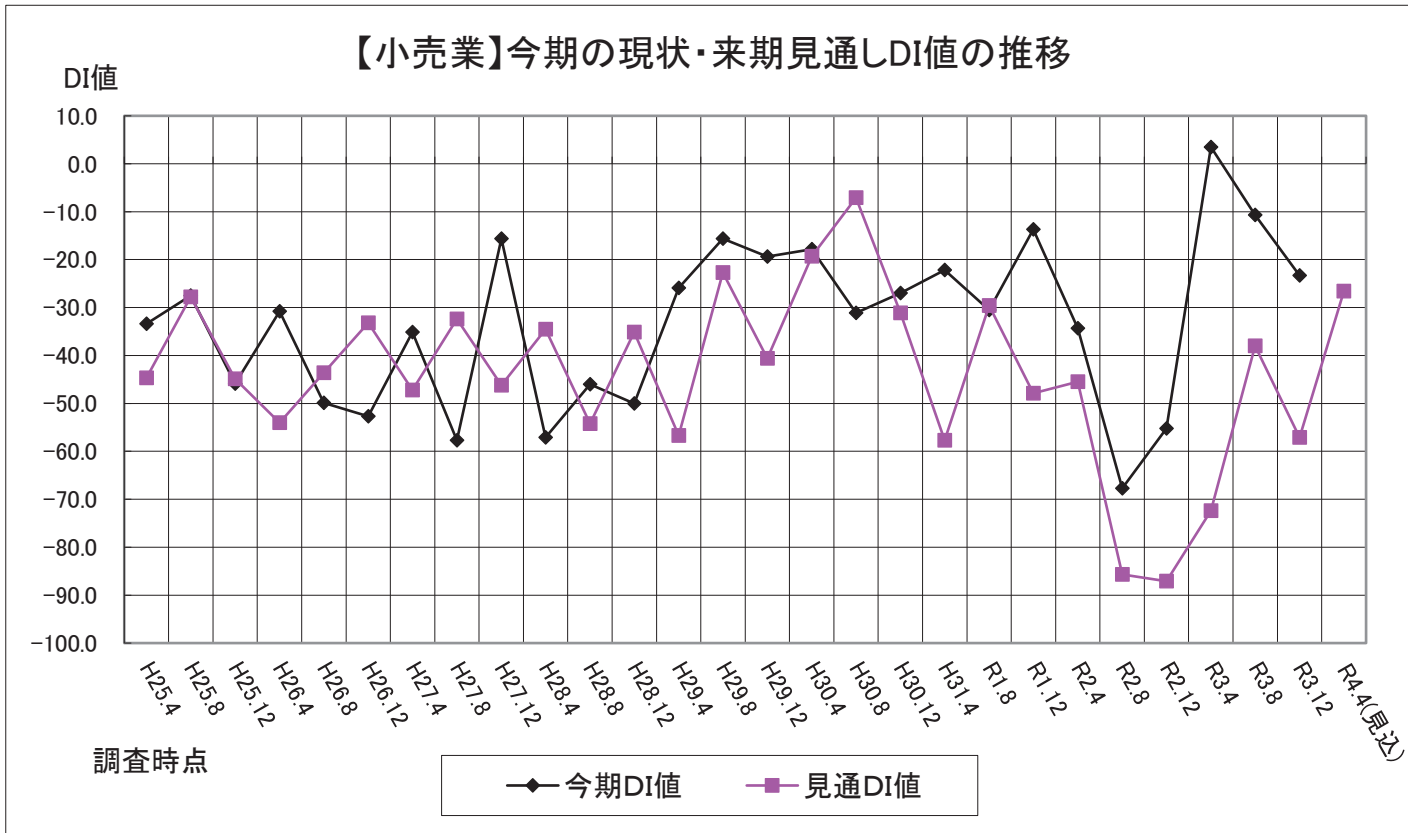
卸売業

- ・今期D I 値は $\Delta 23.6$ となり、前回より23.6ポイント悪化、前年同期より21.4ポイント改善。
- ・来期D I 値は $\Delta 11.8$ となり、今期より11.8ポイント改善。



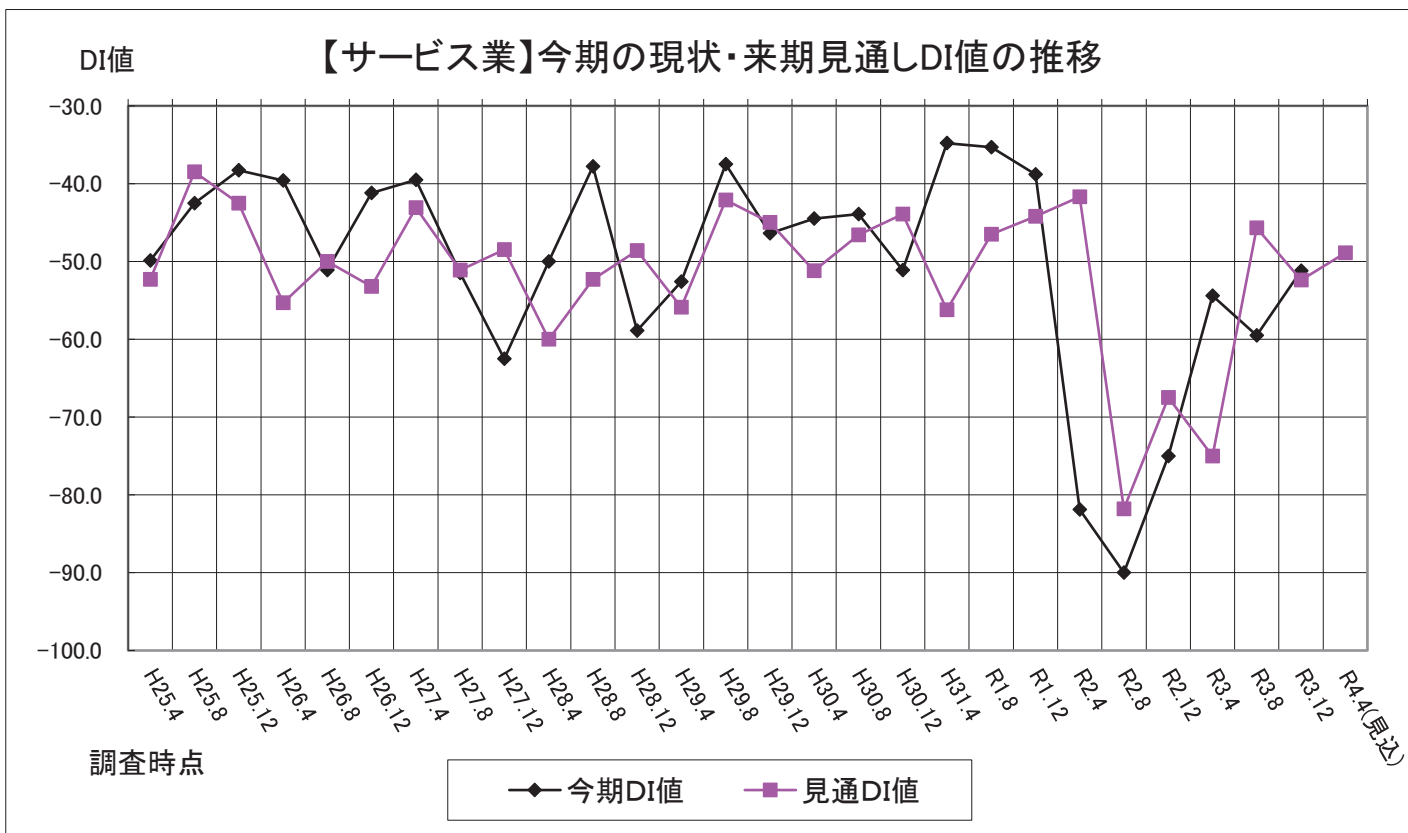
小 売 業

- ・今期D I 値は△23.3となり、前回より12.6ポイント悪化、前年同期より31.9ポイント改善。
- ・来期D I 値は△26.6となり、今期より3.3ポイント悪化。



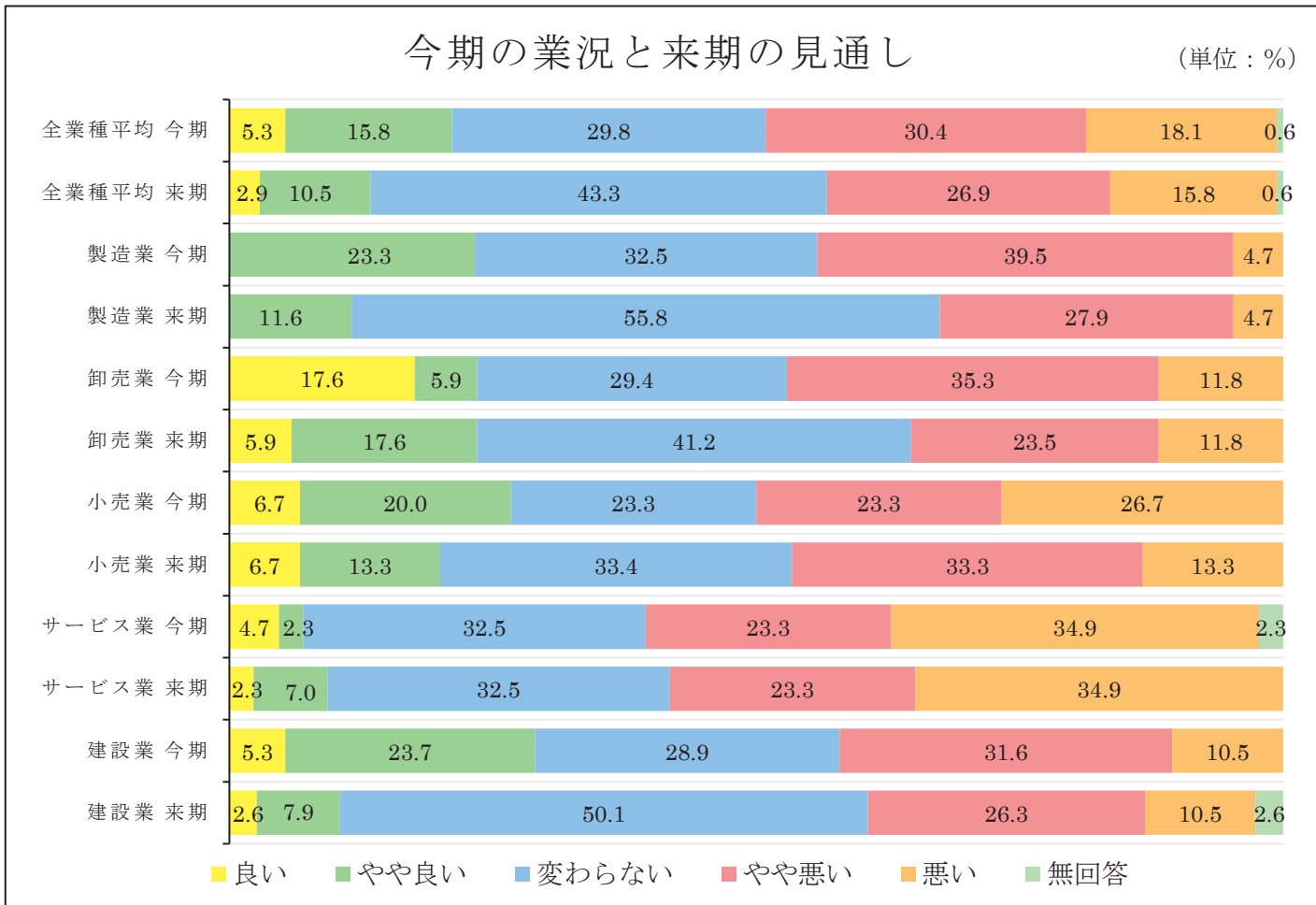
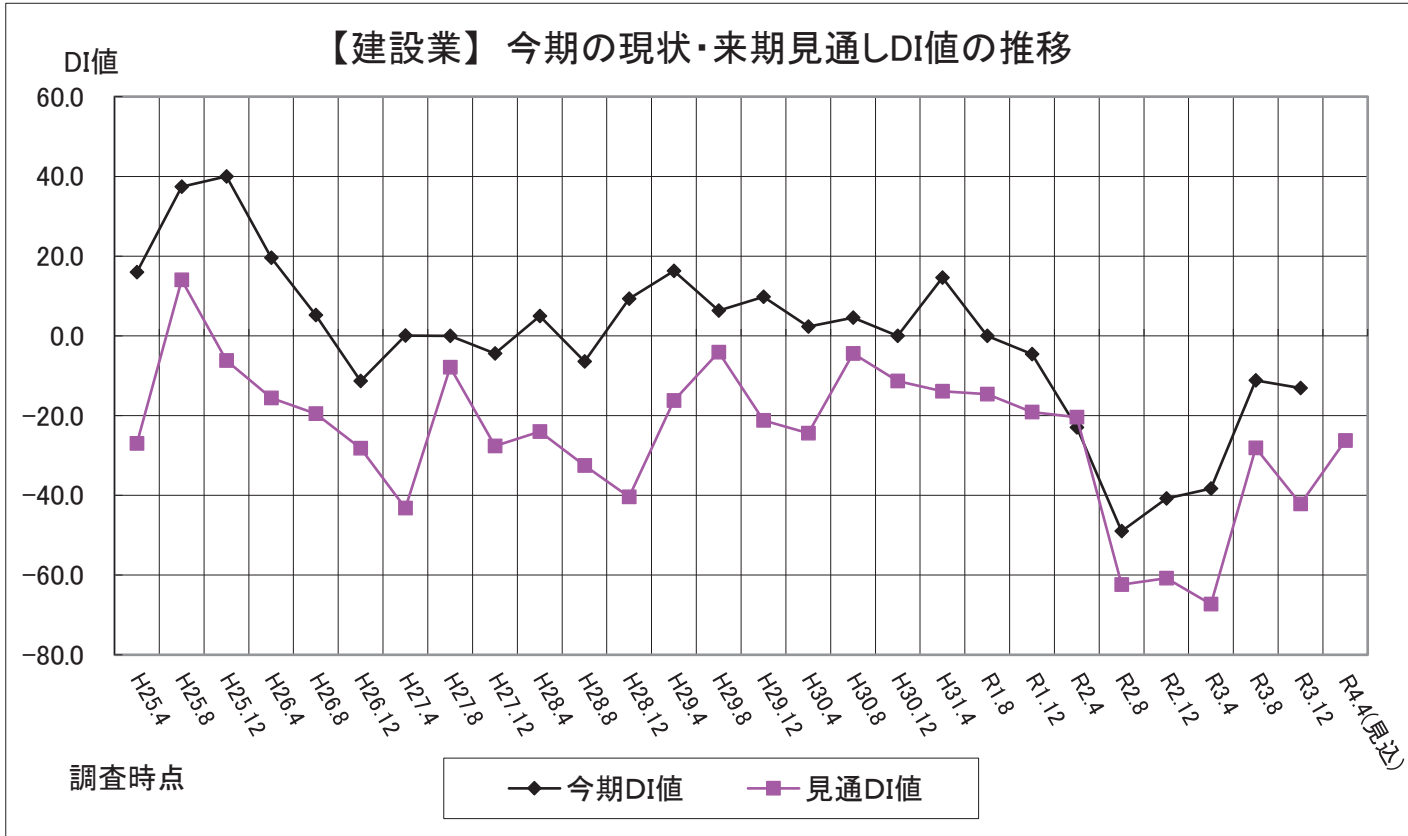
サービス業

- ・今期D I 値は△51.2となり、前回より8.3ポイント、前年同期より23.8ポイント改善。
- ・来期D I 値は△48.9となり、今期より2.3ポイント改善。



建設業

- ・今期D I 値は△13.1となり、前回より1.9ポイント悪化、前年同期より27.7ポイント改善。
- ・来期D I 値は△26.3となり、今期より13.2ポイント悪化。



3. 売上状況

全業種平均

- ・今期D I 値は△29.8となり、前回より6.2ポイント悪化、前年同期より21.0ポイント改善。
- ・来期D I 値は△36.3となり、今期より6.5ポイント悪化。

製造業

- ・今期D I 値は△28.0となり、前回より11.8ポイント悪化、前年同期より1.8ポイント改善。
- ・来期D I 値は△30.2となり、今期より2.2ポイント悪化。

卸売業

- ・今期D I 値は△17.6となり、前回より1.7ポイント悪化、前年同期より32.4ポイント改善。
- ・来期D I 値は△29.4となり、今期より11.8ポイント悪化。

小売業

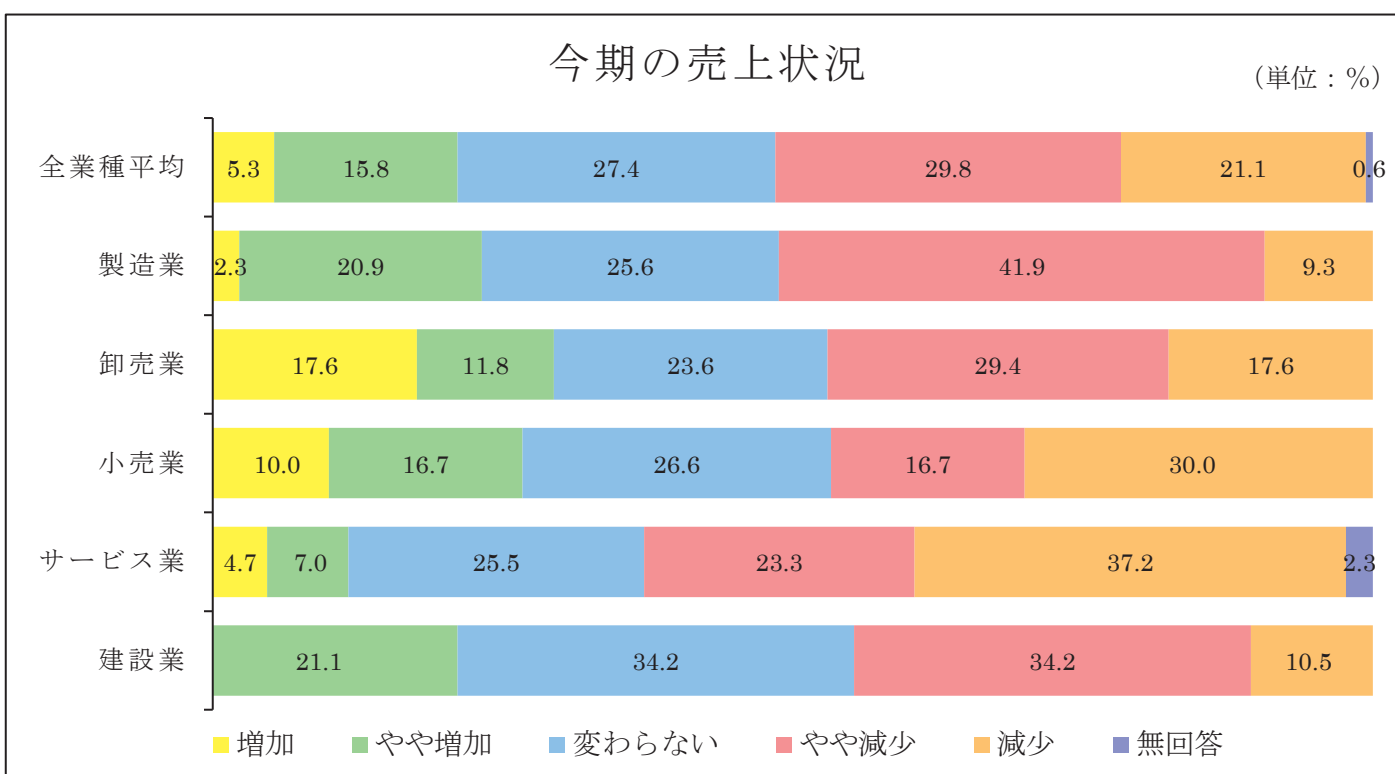
- ・今期D I 値は△20.0となり、前回より23.5ポイント悪化、前年同期より42.2ポイント改善。
- ・来期D I 値は△26.6となり、今期より6.6ポイント悪化。

サービス業

- ・今期D I 値は△48.8となり、前回より13.1ポイント、前年同期より26.2ポイント改善。
- ・来期D I 値は△53.5となり、今期より4.7ポイント悪化。

建設業

- ・今期D I 値は△23.6となり、前回より8.0ポイント悪化、前年同期より19.3ポイント改善。
- ・来期D I 値は△34.2となり、今期より10.6ポイント悪化。



4. 利益状況

全業種平均

- ・今期D I 値は△33.9となり、前回より4.5ポイント悪化、前年同期より12.6ポイント改善。
- ・来期D I 値は△35.7となり、今期より1.8ポイント悪化。

製造業

- ・今期D I 値は△30.3となり、前回より7.0ポイント悪化、前年同期より3.7ポイント改善。
- ・来期D I 値は△23.3となり、今期より7.0ポイント改善。

卸売業

- ・今期D I 値は△23.4となり、前回より23.4ポイント悪化、前年同期より1.6ポイント改善。
- ・来期D I 値は△23.5となり、今期から0.1ポイント悪化。

小売業

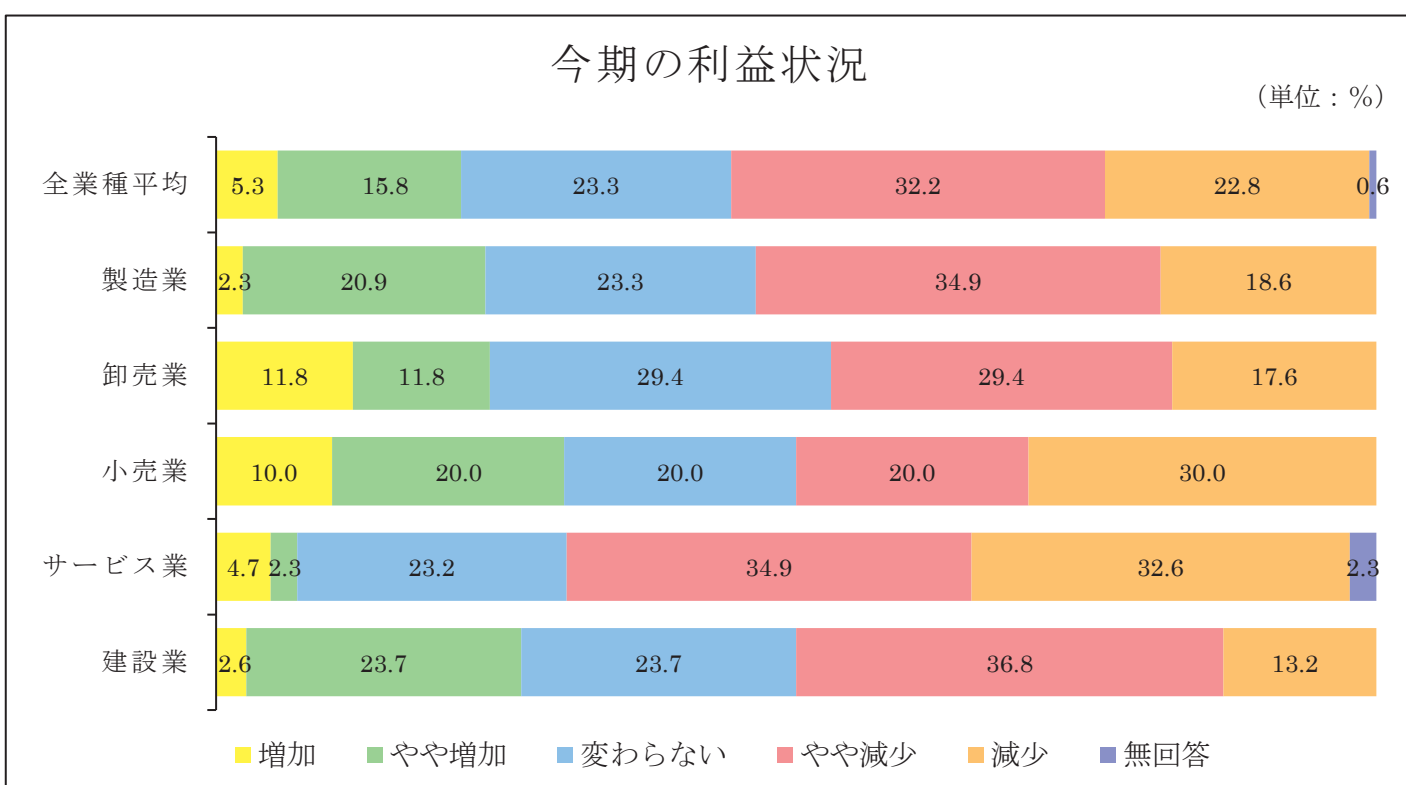
- ・今期D I 値は△20.0となり、前回より9.2ポイント悪化、前年同期より28.3ポイント改善。
- ・来期D I 値は△26.6となり、今期から6.6ポイント悪化。

サービス業

- ・今期D I 値は△60.5となり、前回より1.0ポイント悪化、前年同期より14.5ポイント改善。
- ・来期D I 値は△58.2となり、今期より2.3ポイント改善。

建設業

- ・今期D I 値は△23.7となり、前回より7.4ポイント、前年同期より17.1ポイント改善。
- ・来期D I 値は△36.8となり、今期より13.1ポイント悪化。



5. 資金繰り状況

全業種平均

- ・今期D I 値は△9.9となり、前回より4.2ポイント、前年同期より6.0ポイント改善。
- ・来期D I 値は△22.1となり、今期より12.2ポイント悪化。

製造業

- ・今期D I 値は△0.1となり、前回より18.5ポイント、前年同期より21.1ポイント改善。
- ・来期D I 値は△9.2となり、今期より9.1ポイント悪化。

卸売業

- ・今期D I 値は△5.9となり、前回より11.1ポイント、前年同期より25.9ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△17.6となり、今期より11.7ポイント悪化。

小売業

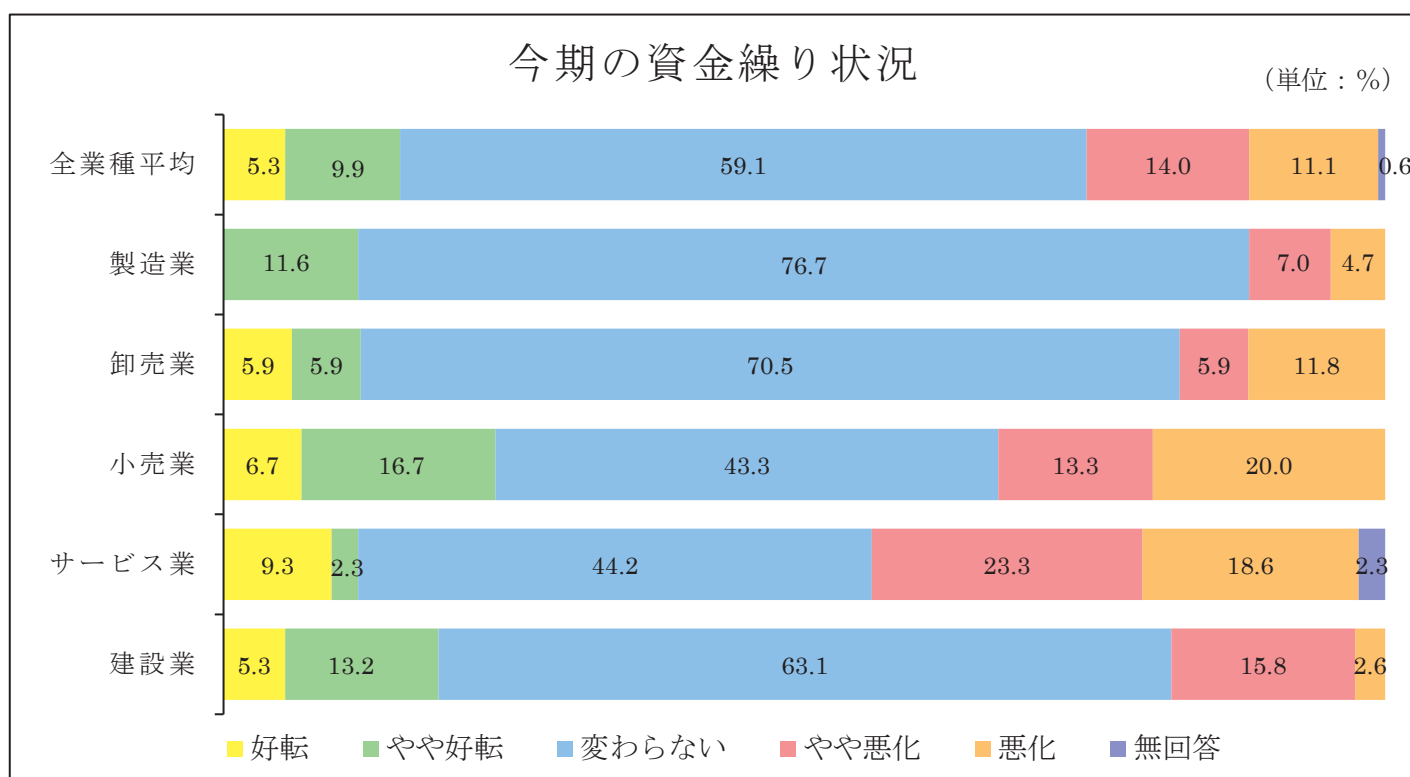
- ・今期D I 値は△9.9となり、前回より6.3ポイント悪化、前年同期より7.3ポイント改善。
- ・来期D I 値は△23.3となり、今期より13.4ポイント悪化。

サービス業

- ・今期D I 値は△30.3となり、前回より5.4ポイント、前年同期より12.8ポイント改善。
- ・来期D I 値は△44.2となり、今期より13.9ポイント悪化。

建設業

- ・今期D I 値は0.1となり、前回より4.5ポイント、前年同期より0.1ポイント改善。
- ・来期D I 値は△13.1となり、今期より13.2ポイント悪化。



6. 設備投資状況

全業種平均

- ・今期に設備投資を行った割合は33.5%となり、前回より9.2%、前年同期より6.5%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は20.5%となり、今期より13.0%減少。

製造業

- ・今期に設備投資を行った割合は54.8%となり、前回より17.6%、前年同期より16.5%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は39.5%となり、今期より15.3%減少。

卸売業

- ・今期に設備投資を行った割合は17.6%となり、前回より8.7%減少、前年同期より2.6%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は17.6%となり、今期と同水準。

小売業

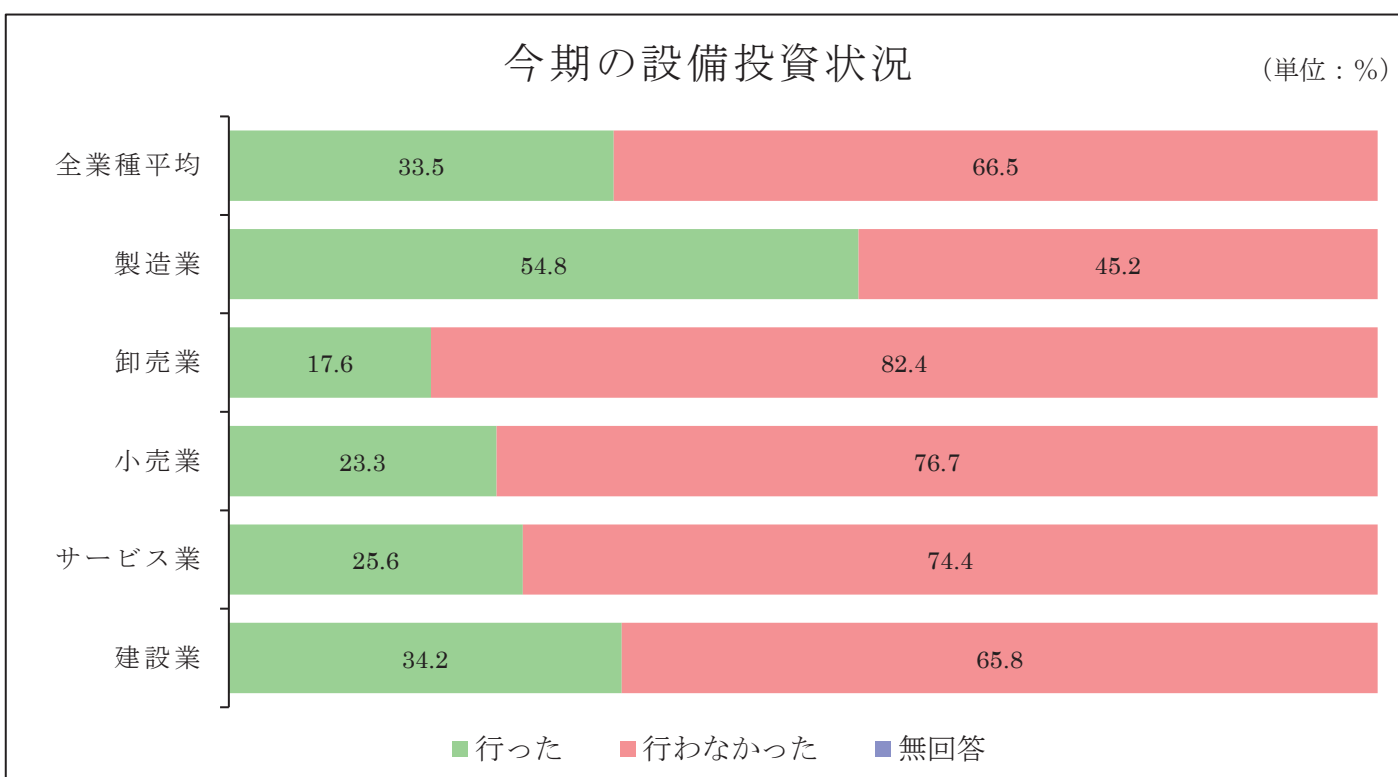
- ・今期に設備投資を行った割合は23.3%となり、前回より5.4%増加、前年同期より0.8%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は10.0%となり、今期より13.3%減少。

サービス業

- ・今期に設備投資を行った割合は25.6%となり、前回より13.7%増加、前年同期より3.9%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は9.3%となり、今期より16.3%減少。

建設業

- ・今期に設備投資を行った割合は34.2%となり、前回より7.5%、前年同期より13.8%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は21.1%となり、今期より13.1%減少。



7. 雇用状況（『今期の雇用状況』は「従業員を雇用している企業」のみ回答）

全業種平均

- ・今期D I値は△38.2となり、前回より3.2ポイント、前年同期より11.6ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は27.5%となり、前回より12.2%増加。

製造業

- ・今期D I値は△47.2となり、前回より6.7ポイント、前年同期より19.0ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は39.5%となり、前回より25.5%増加。

卸売業

- ・今期D I値は△33.3となり、前回より3.6ポイント不足感が減少、前年同期より28.3ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は35.3%となり、前回より14.2%増加。

小売業

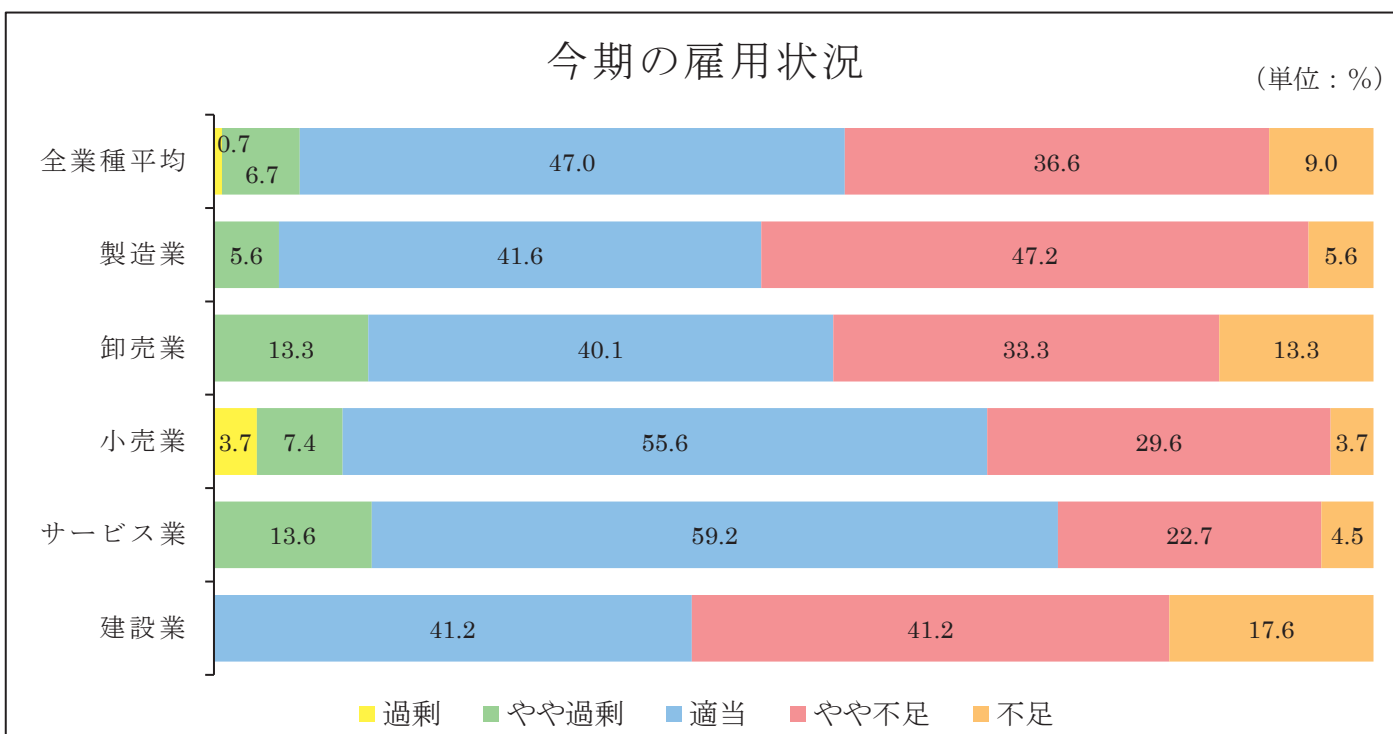
- ・今期D I値は△22.2となり、前回より10.2ポイント不足感が増加、前年同期より2.0ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は13.3%となり、前回より6.2%増加。

サービス業

- ・今期D I値は△13.6となり、前回より3.6ポイント、前年同期より9.0ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は16.3%となり、前回より9.2%増加。

建設業

- ・今期D I値は△58.8となり、前回より2.4ポイント、前年同期より3.7ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は34.2%となり、前回より7.5%増加。



8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況

全業種平均

- ・「受け入れている」企業は4.7%となり、前回より1.0%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は2.4%となり、前回より0.1%増加。

製造業

- ・「受け入れている」企業は11.6%となり、前回より2.3%増加。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は4.7%となり、前回より2.4%増加。

卸売業

- ・「受け入れている」企業は無しとなり、前回より5.3%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は無しとなり、前回より5.3%減少。

小売業

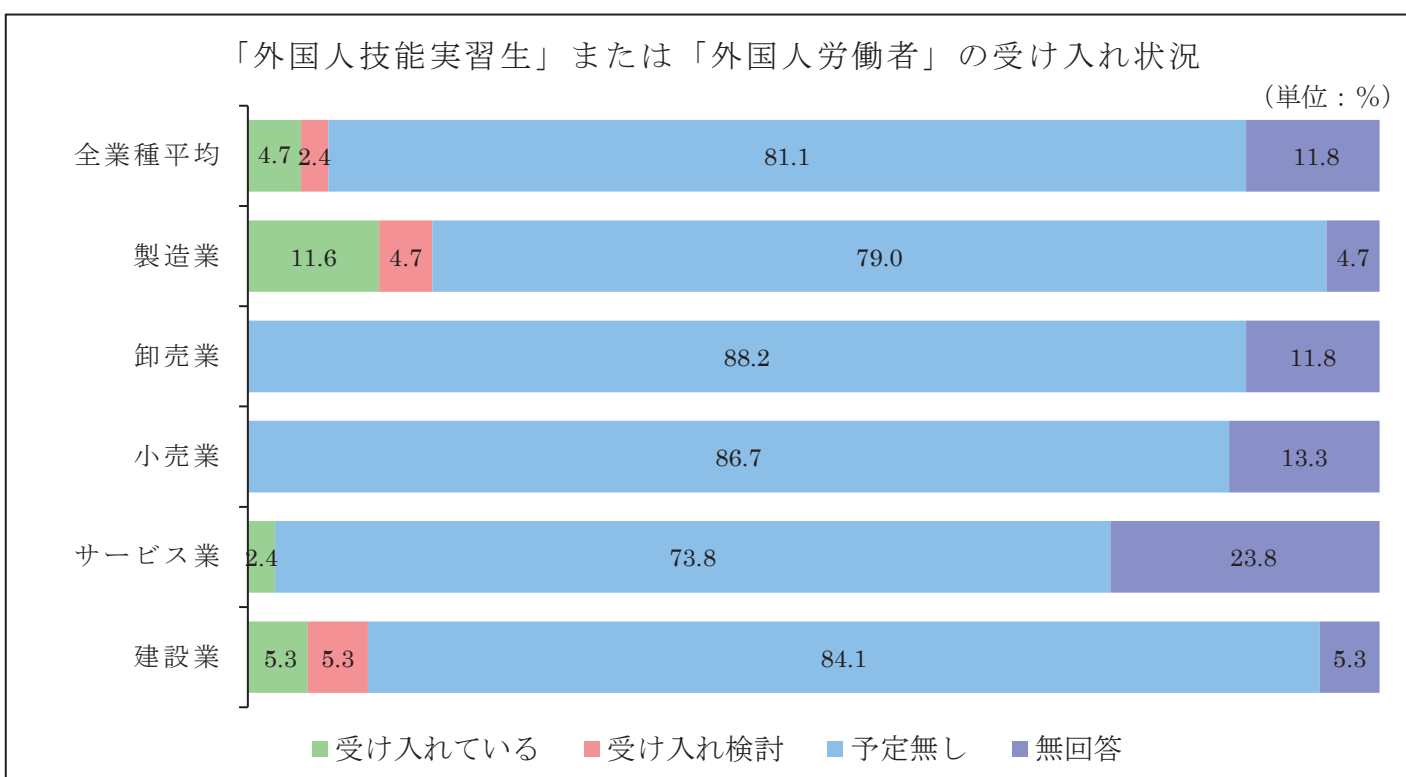
- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業についても引き続き無し。

サービス業

- ・「受け入れている」企業は2.4%となり、前回より2.4%増加
- ・今後「受け入れを検討」する企業については引き続き無し。

建設業

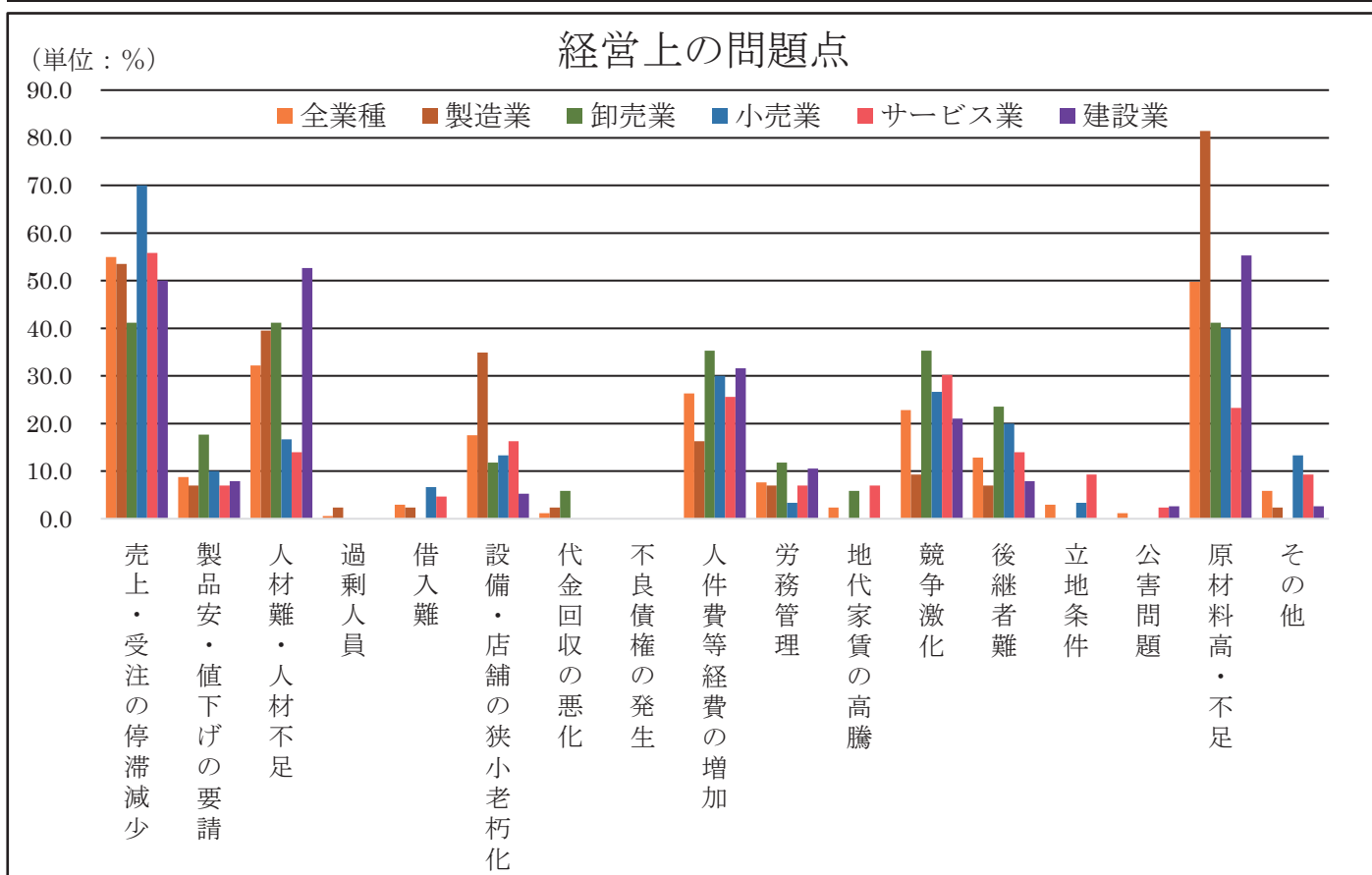
- ・「受け入れている」企業は5.3%となり、前回より6.1%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は5.3%となり、前回より0.8%増加。



9. 経営上の問題点

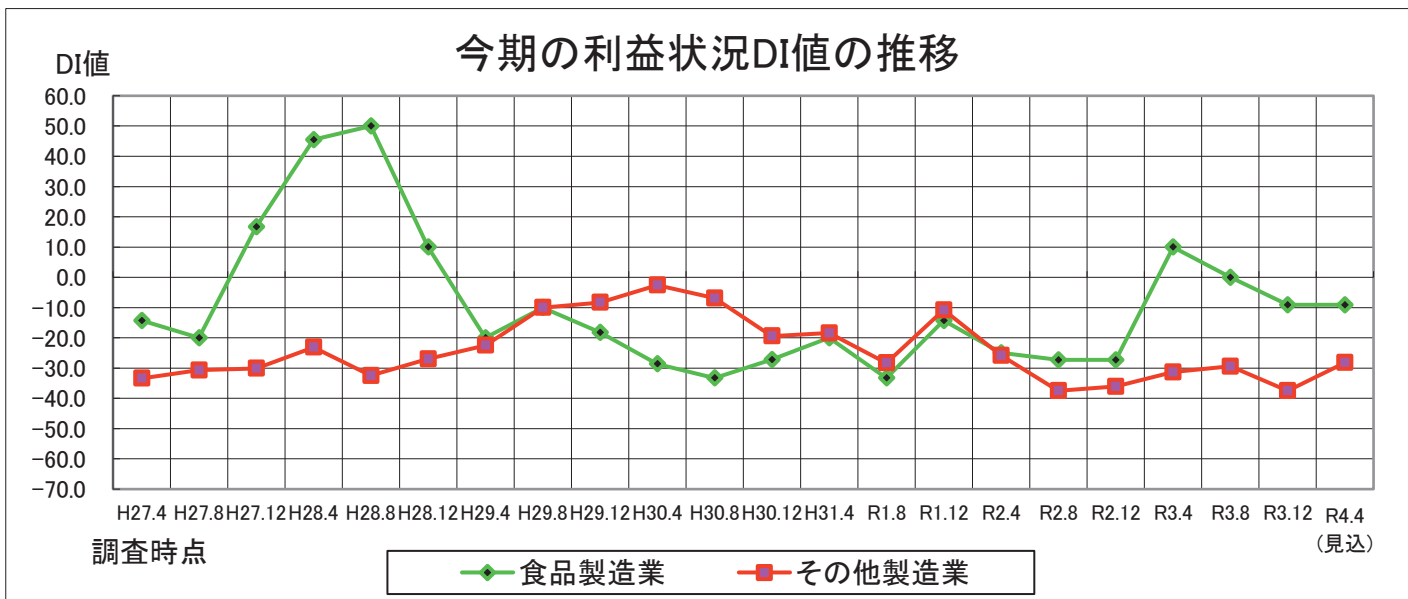
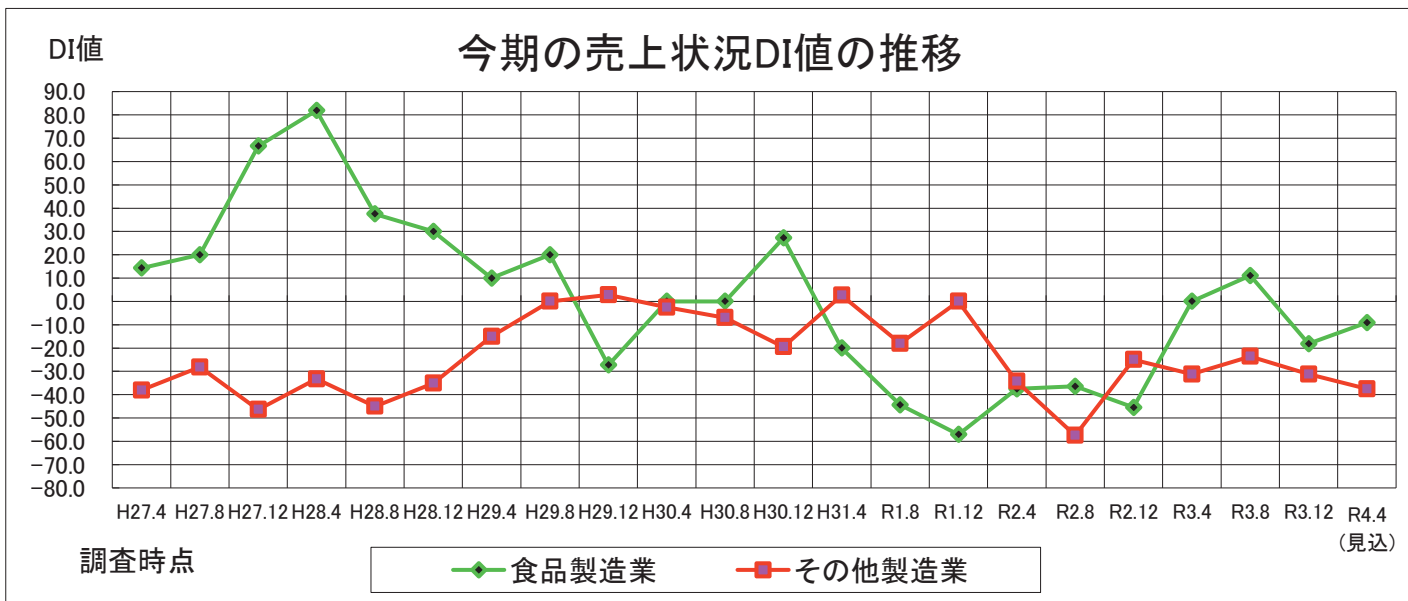
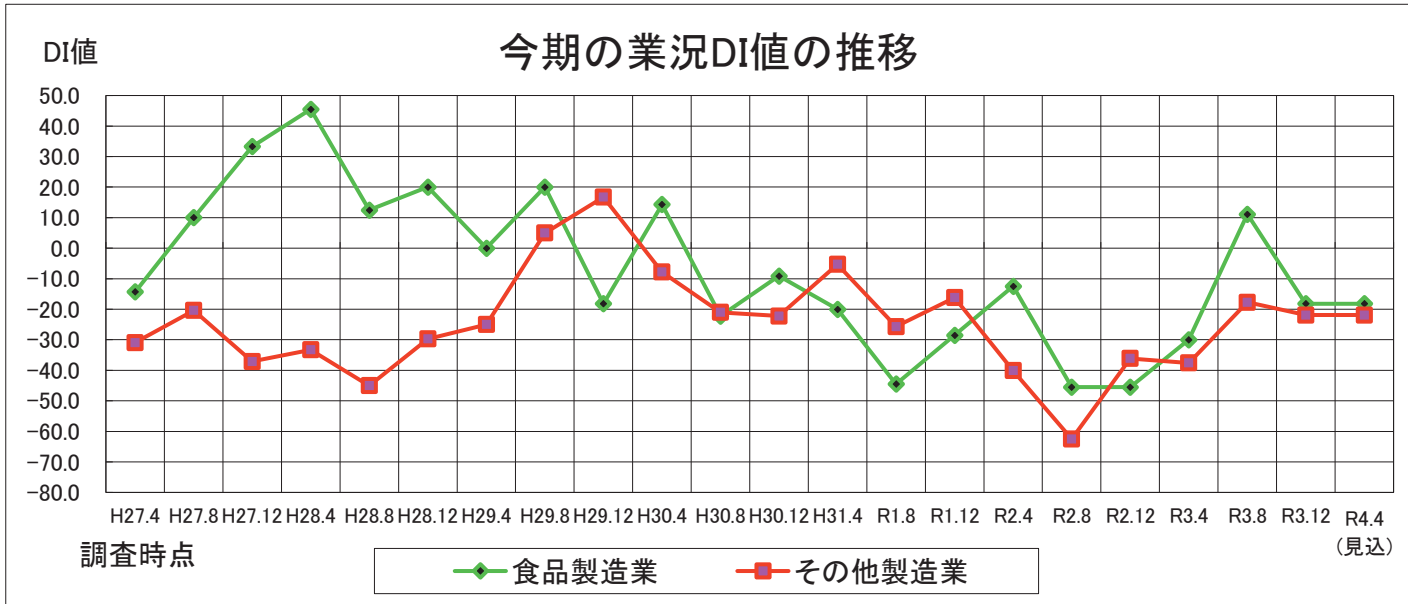
- ・全業種平均では「売上、受注の停滞減少」が55.0%と全体を通じて最も高く、次いで「原材料高及び不足」が49.7%、「人材難、人材不足」が32.2%と高い割合となっている。
- ・「その他」の意見として、「新型コロナウイルス感染症関連では、収束の見通しが立たない限り売上増加の期待が持てない、仕事が激減した」「仕入価格上昇分を売価に転嫁しづらい、通信販売が身近となり価格の比較がしやすくなった、メーカーから定価販売を求められる（小売業）」「天候不順の影響（製造業）」「お客様の美意識の変化（サービス業）」といった問題に苦慮する声が聞かれた。
- ・業種別の問題点上位は以下のとおり。（グラフは業種別のみ、無回答は除く）

製造業	原材料高及び不足 (81.4%)	売上・受注の停滞減少 (53.5%)	人材難・人材不足 (39.5%)
卸売業	売上・受注の停滞減少 人材難・人材不足 原材料高及び不足 (41.2%)	人件費等経費の増加 競争激化 (35.3%)	後継者難 (23.5%)
小売業	売上・受注の停滞減少 (70.0%)	原材料高及び不足 (40.0%)	人件費等経費の増加 (30.0%)
サービス業	売上・受注の停滞減少 (55.8%)	競争激化 (30.2%)	人件費等経費の増加 (25.6%)
建設業	原材料高及び不足 (55.3%)	人材難・人材不足 (52.6%)	売上・受注の停滞減少 (50.0%)

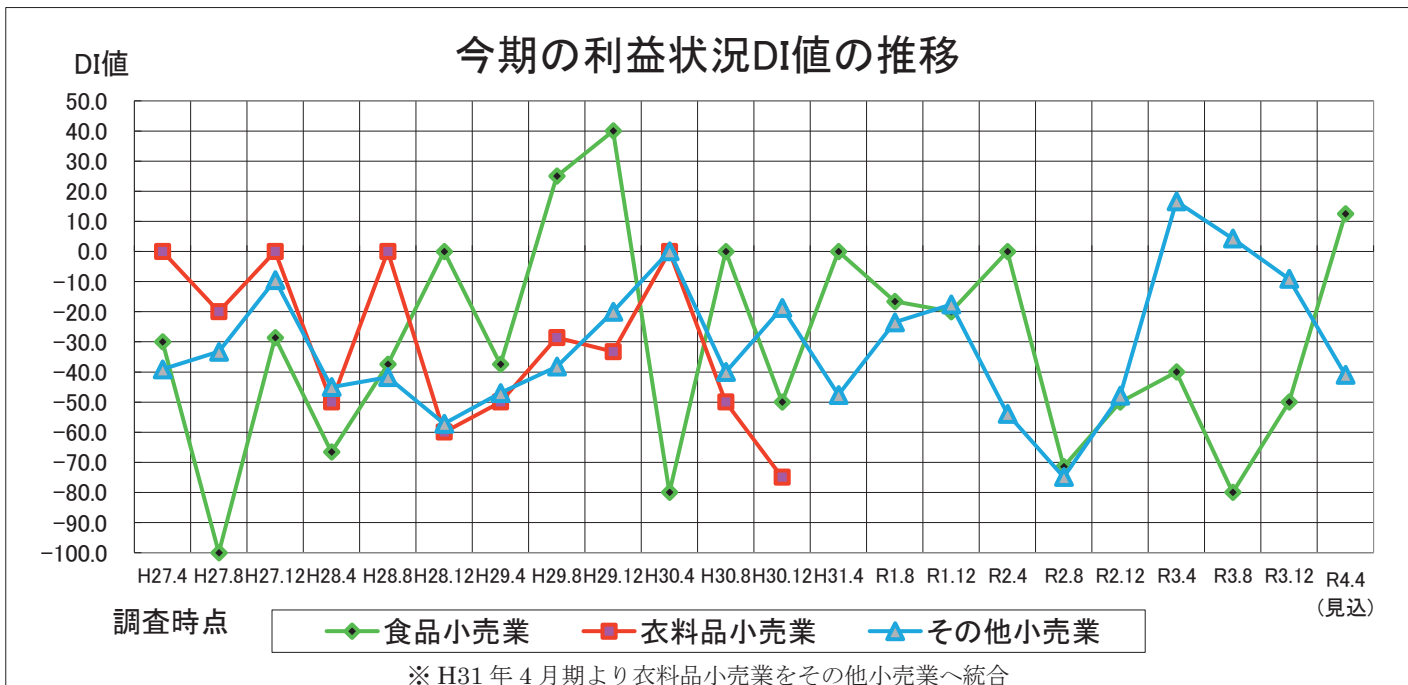
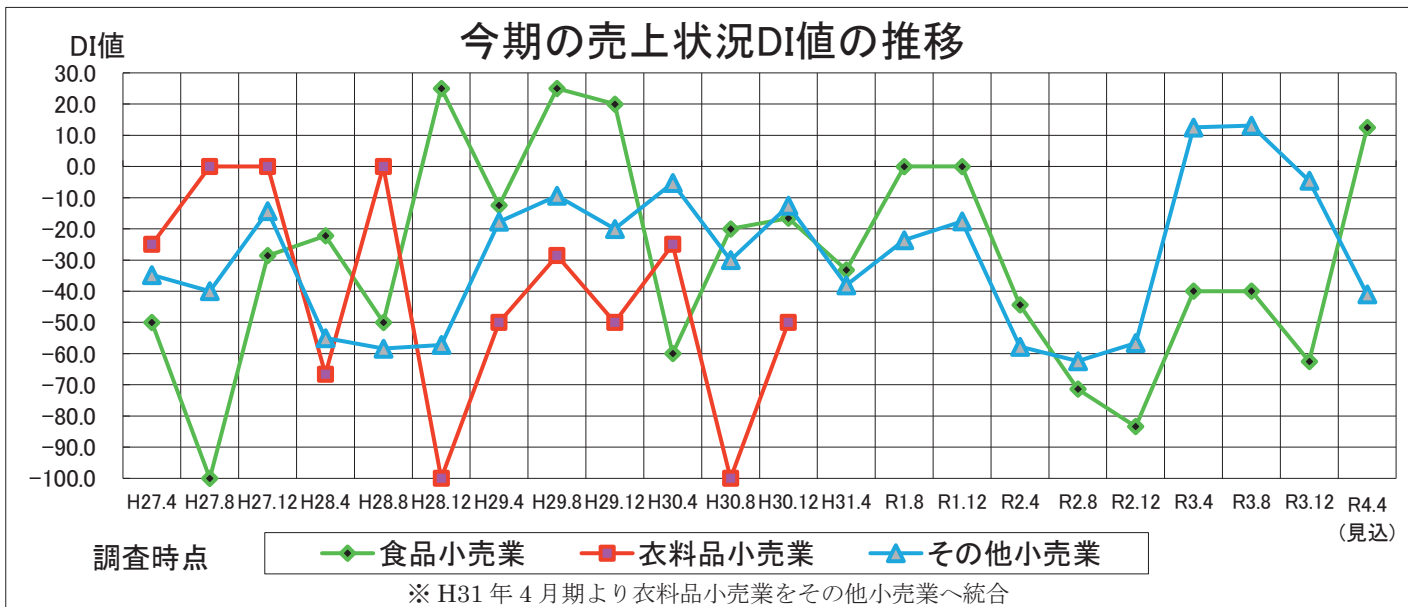
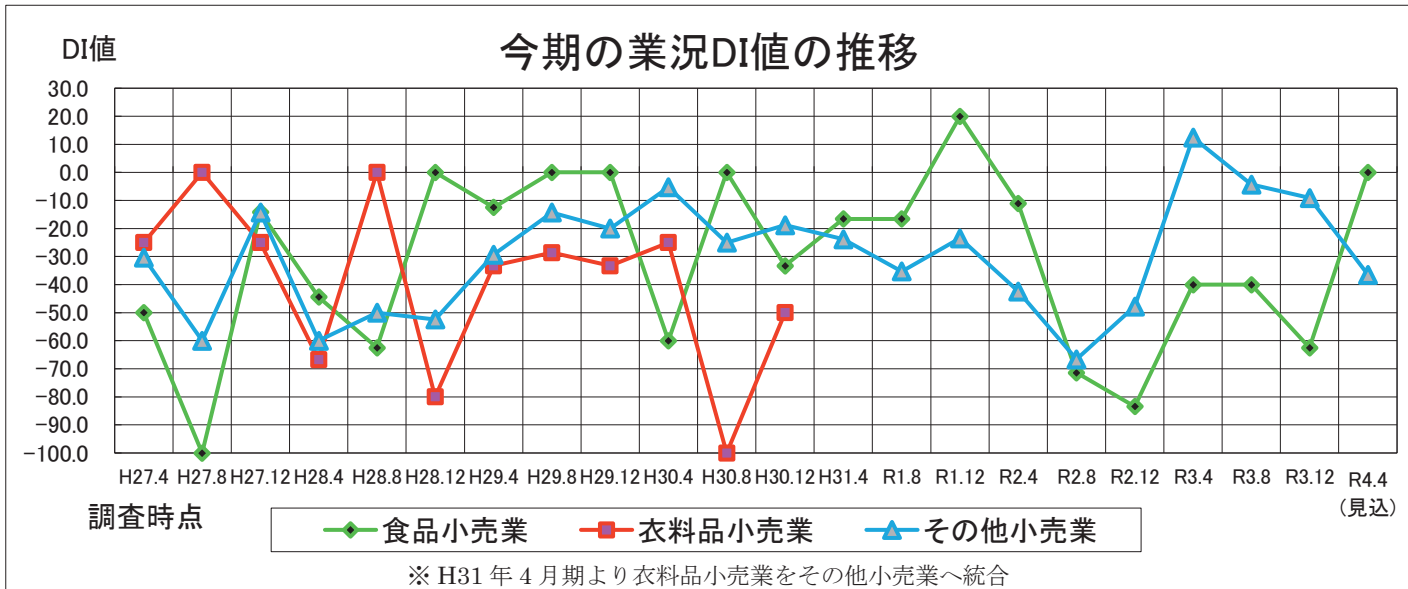


Ⅲ 業種別参考資料

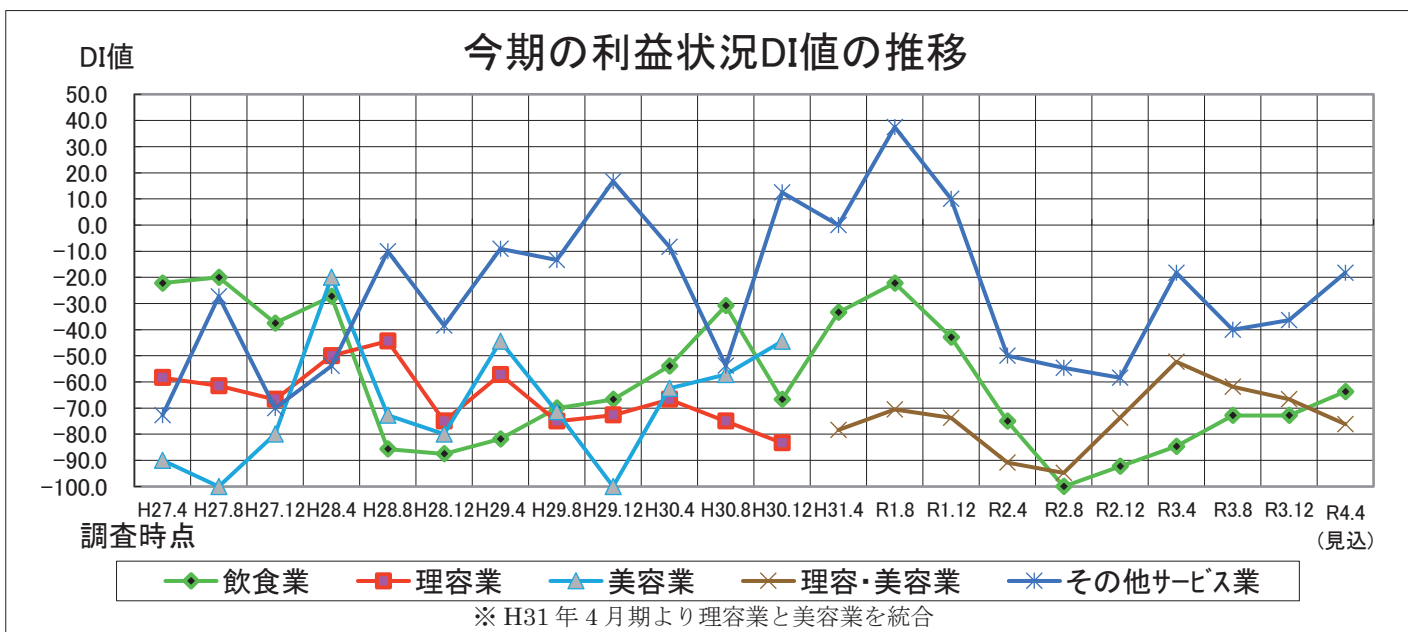
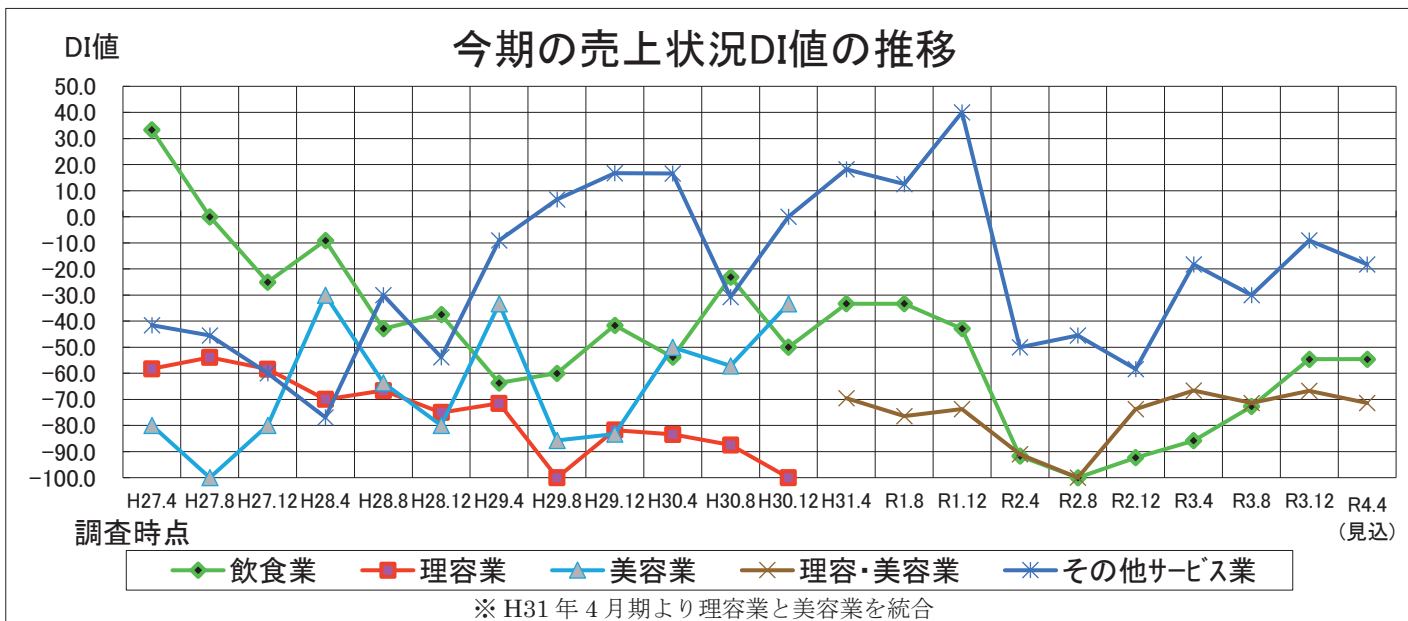
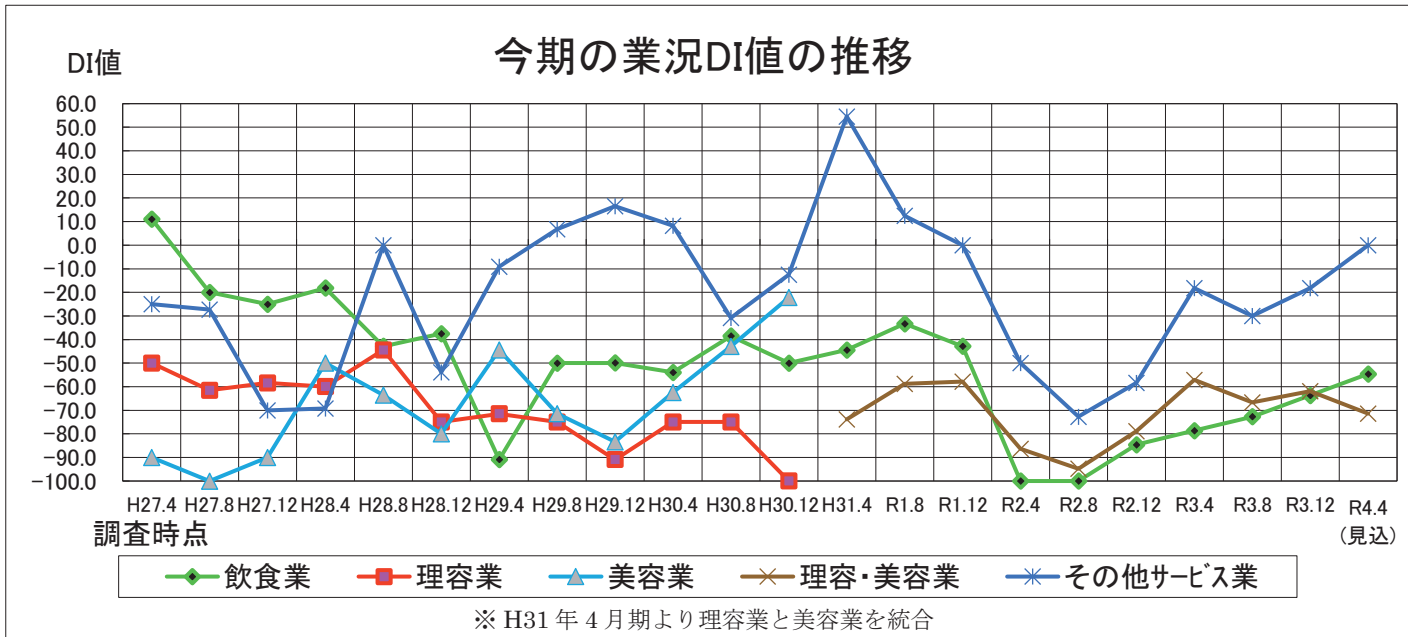
1. 製造業



2. 小売業



3. サービス業



4. 建設業

